

【第7回アフリカ開発会議サイドイベント】

アフリカにおける人獣共通感染症との闘い：日・OIE 協調プログラム

国際協力機構（JICA）は、8月28日、アフリカにおける人獣共通感染症との闘いをテーマとしたサイドイベントを外務省、国際獣疫事務局（OIE）、農林水産省との共催でパシフィコ横浜にて開催しました。

第一部の JICA・OIE 協力趣意書の調印式では、冒頭、阿部俊子外務副大臣が登壇し、人間と動物の健康を目的とする人獣共通感染症の対策について関係機関が連携する重要性を強調し、「日・OIE 協調プログラム」¹（注）の立ち上げを発表しました。また、高野光二郎農林水産大臣政務官から、今回のプログラムの成立による日・OIE の関係強化を歓迎する旨の挨拶がありました。

加藤宏 JICA 理事から、本趣意書の目的である①人間・動物の健康改善に取り組む関係者の人材育成、②獣医サービスの技術及び能力強化、③OIE の有する知見とネットワークを活用した効果的・効率的な途上国の保健システム強化支援について説明の後、阿部外務副大臣及び高野農林水産大臣政務官の立ち合いのもと、加藤理事とジャン・フィリップ・ドップ OIE 事務局次長が趣意書に調印しました。

第二部のパネルディスカッションでは、OIE と JICA 関係者及び国内外の人獣共通感染症の研究者と行政官が登壇し、アフリカ地域における人獣共通感染症の課題と解決に関する議論が実施されました。議論においては人獣共通感染症の問題の深刻さが再認識されるとともに、同課題に対する各機関の取り組みの特色が共有されました。この議論をもとに、動物の衛生や人獣共通感染症対策を主導する OIE との連携の強化によって、アフリカでの人間と動物の健康増進を推進する必要性が確認されました。

■本イベントの主な登壇者

【調印式】

- 阿部俊子 外務省 外務副大臣

¹ 「日・OIE 協調プログラム」：人獣共通感染症対策のため、JICA の当分野の協力実施に際し OIE の世界的なネットワークと専門性を連携させることで、人獣共通感染症の日・OIE 双方の取り組みに幅と厚みを持たせ、相乗効果を図るもの。

- 高野光二郎 農林水産省 農林水産大臣政務官
- ジャン・フィリップ・ドップ OIE 事務局次長
- 加藤宏 JICA 理事

【パネルディスカッション】

- 釘田博文 OIE アジア太平洋地域事務所代表 (モデレーター)
- ジャン・フィリップ・ドップ OIE 事務局次長
- カリム・トゥンカラ OIE アフリカ地域代表
- 戸田隆夫 JICA 上級審議役
- ビクター・ムコンカ ザンビア国家公衆衛生研究所代表
- 喜田宏 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 統括

■写真

加藤 JICA 理事とドップ OIE 事務局次長が協力趣意書に調印



ザンビアとも中継されたパネルディスカッション



■関連する SDGs ゴール :

